

科学的介護情報システム(LIFE) 第2回説明会

説明Ⅱ グラフの見方について

令和7年3月13日・14日実施

本日の流れ

- 本日は以下の流れでご説明いたします。

			視聴の対象となる方	所用時間
説明Ⅰ	令和6年度版フィードバックについて	(1)科学的介護におけるフィードバック (2)令和6年度版フィードバックの変更点 (3)フィードバック閲覧の流れと留意点	令和6年度版 フィードバック の概要を 知りたい方	約 20 分
説明Ⅱ	グラフの見方について	- フィードバックに含まれるグラフの種類 - 特徴的なグラフの見方 - ヒストグラム - レーダーチャート - 箱ひげ図	グラフの見方 について 知りたい方	約 30 分
説明Ⅲ	フィードバックの活用方法と 介護施設・事業所における 事例	(1) PDCA サイクルとフィードバックの活用 (2) 介護施設・事業所におけるフィードバック 活用事例 (3) LIFEについて知りたいことがあるときには	フィードバック の活用の概要 及び事例に ついて 知りたい方	約 40 分

本パートでお伝えしたいこと

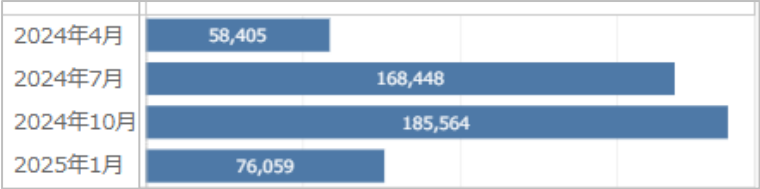
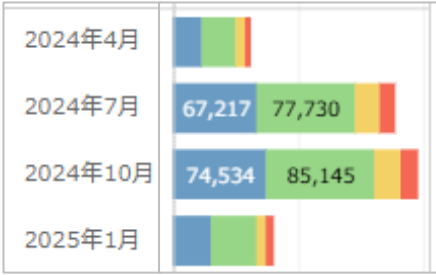
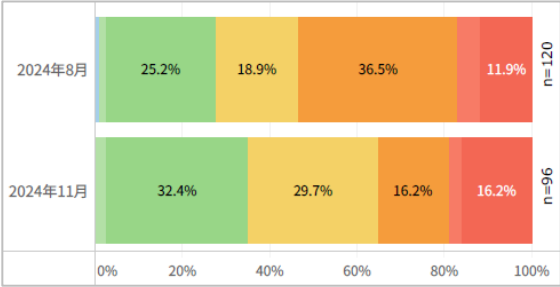
- 「説明Ⅱ グラフの見方について」でお伝えしたいことは以下のとおりです。

Point !

- 令和6年度版フィードバックでは様々な種類のグラフを用いてデータを表示します。
- グラフから数値を読み取る際、項目によって、数値が大きいほど状態が良い可能性がある場合と、数値が小さいほど状態が良い可能性がある場合があることにご留意ください。数値の大小や増減は、項目の内容と合わせて確認しましょう。
- 全国の値は、あくまでも「比較するためのひとつの目安」として捉えましょう。必ずしも日々のケアの良し悪しを判断するための基準ではないことにご留意ください。

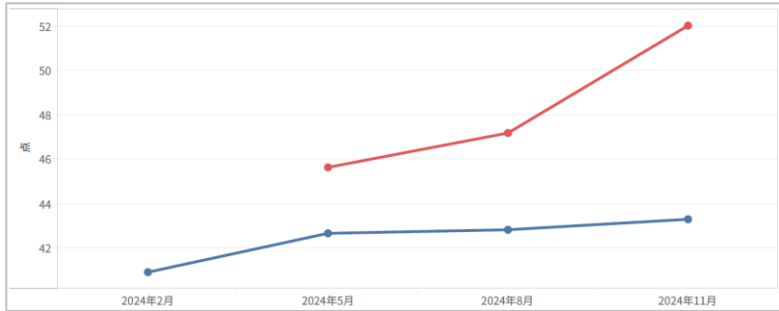
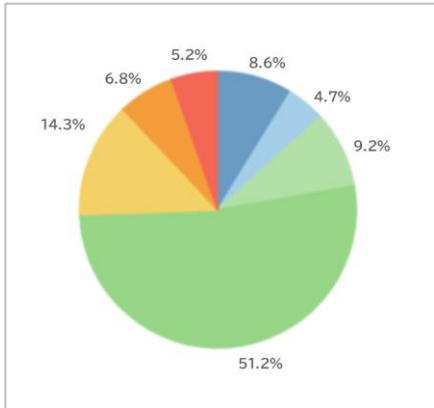
フィードバックに含まれるグラフの種類(1/2)

- 令和6年度版フィードバックでは、様々な種類のグラフを用いて自施設・事業所や利用者、全国値のデータが示されます。
- 以下に代表的なグラフの種類をお示します。

グラフ名	イメージ	示す内容
棒グラフ		数値の大小を時系列で比較する
積み上げ棒グラフ		各項目の大小を時系列で比較する
積み上げ100%棒グラフ		各項目の構成割合を時系列で比較する

フィードバックに含まれるグラフの種類(2/2)

- 令和6年度版フィードバックでは、様々な種類のグラフを用いて自施設・事業所や利用者、全国値のデータが示されます。
- 以下に代表的なグラフの種類をお示します。

グラフ名	イメージ	示す内容																
折れ線グラフ	 A line graph with a white background and light gray horizontal grid lines. The y-axis is labeled '値' (Value) and ranges from 42 to 52. The x-axis shows four dates: 2024年2月, 2024年5月, 2024年8月, and 2024年11月. There are two data series: a red line with circular markers and a blue line with circular markers. The red line starts at approximately 45.5 in February, rises to 45.8 in May, 47.2 in August, and ends at 52.0 in November. The blue line starts at approximately 41.2 in February, rises to 42.8 in May, remains flat at 42.8 in August, and ends at 43.5 in November. <table><tr><th>時期</th><th>赤線 (Red)</th><th>青線 (Blue)</th></tr><tr><td>2024年2月</td><td>45.5</td><td>41.2</td></tr><tr><td>2024年5月</td><td>45.8</td><td>42.8</td></tr><tr><td>2024年8月</td><td>47.2</td><td>42.8</td></tr><tr><td>2024年11月</td><td>52.0</td><td>43.5</td></tr></table>	時期	赤線 (Red)	青線 (Blue)	2024年2月	45.5	41.2	2024年5月	45.8	42.8	2024年8月	47.2	42.8	2024年11月	52.0	43.5	数値の時系列変化を比較する	
時期	赤線 (Red)	青線 (Blue)																
2024年2月	45.5	41.2																
2024年5月	45.8	42.8																
2024年8月	47.2	42.8																
2024年11月	52.0	43.5																
円グラフ	 A pie chart with a white background. It is divided into seven segments of different colors, each labeled with its percentage. The segments are: a large green segment (51.2%), a light green segment (9.2%), a light blue segment (4.7%), a dark blue segment (8.6%), a red segment (5.2%), an orange segment (6.8%), and a yellow segment (14.3%). <table><tr><th>色</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>緑</td><td>51.2</td></tr><tr><td>黄緑</td><td>9.2</td></tr><tr><td>水色</td><td>4.7</td></tr><tr><td>紺色</td><td>8.6</td></tr><tr><td>赤</td><td>5.2</td></tr><tr><td>オレンジ</td><td>6.8</td></tr><tr><td>黄</td><td>14.3</td></tr></table>	色	割合 (%)	緑	51.2	黄緑	9.2	水色	4.7	紺色	8.6	赤	5.2	オレンジ	6.8	黄	14.3	各項目の構成割合を把握する
色	割合 (%)																	
緑	51.2																	
黄緑	9.2																	
水色	4.7																	
紺色	8.6																	
赤	5.2																	
オレンジ	6.8																	
黄	14.3																	

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの概要(1/2)

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

グラフが示す
内容

- 集計対象となる介護施設・事業所のデータを、値の小さいものから大きいものまで階級ごとに並べた場合、自施設・事業所がどの位置にあるのか示します。

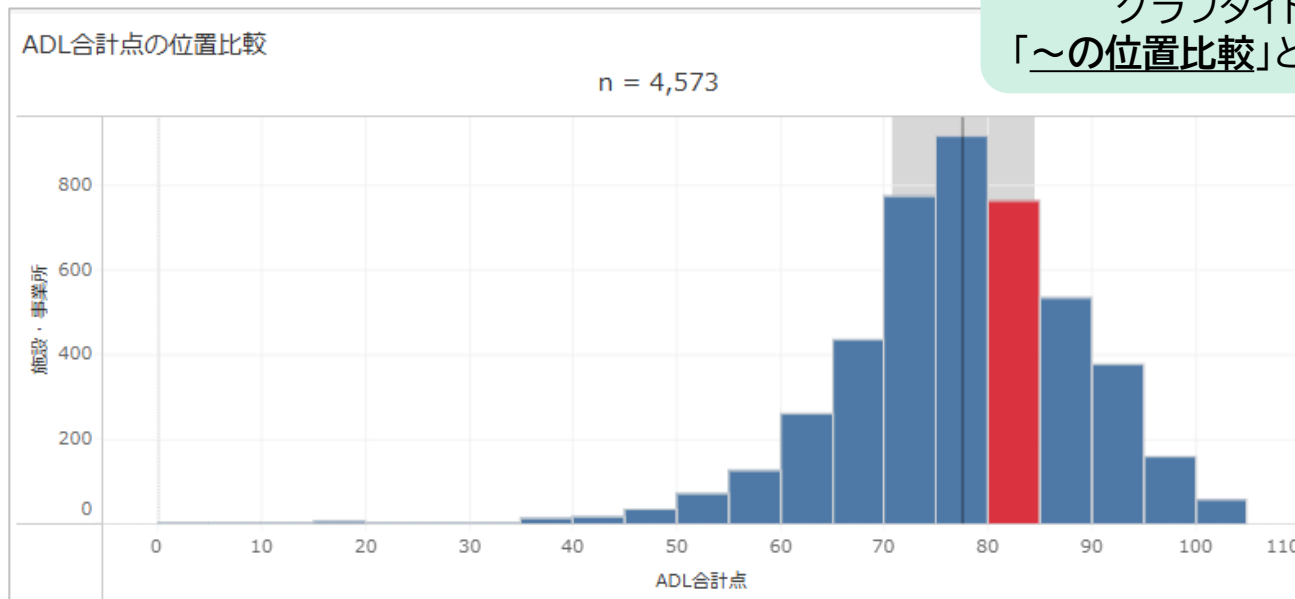
グラフを含む
フィードバック

事業所フィードバック

グラフ例

- 科学的介護推進体制加算 等「ADL合計点の位置比較」
- 排せつ支援加算「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」

【グラフイメージ】



ヒストグラムで示される指標は、
グラフタイトルの末尾が
「～の位置比較」と設定されています

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの概要(2/2)



「階級」とは何か？

グラフ概要

基本的な見方

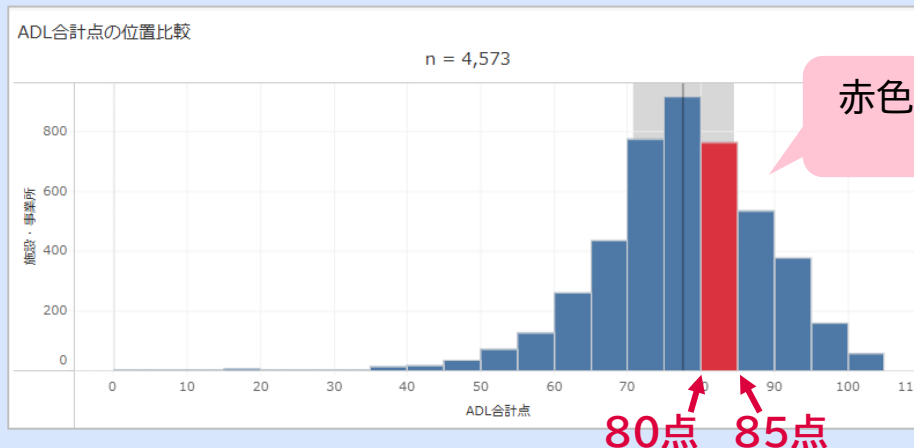
グラフ解釈例

「階級」とは、グラフを示す1つ1つの区間を指します。

(例)

以下に示す「ADL合計点の位置比較」ではADL合計点の取り得る範囲である0～100点を5点刻みに分けています。

このヒストグラムの「階級」は0点以上5点未満、5点以上10点未満、…、95点以上100点未満、100点と設定されます。



特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの基本的な見方(1/9)

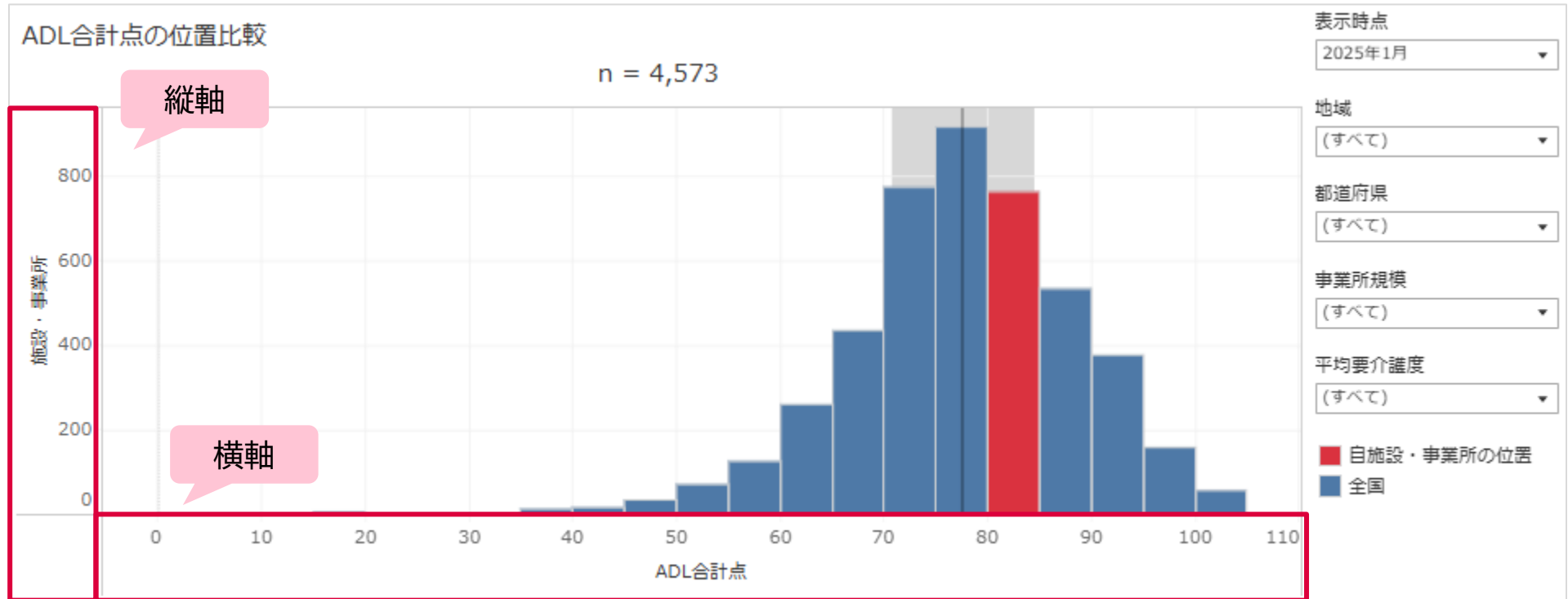
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】科学的介護推進体制加算 事業所フィードバック「ADL合計点の位置比較」

① 縦軸・横軸が何か確認する



このグラフでは、
縦軸： 介護施設・事業所の数(単位:施設事業所)
横軸： ADL合計点(単位:点)
を示しています。

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの基本的な見方(2/9)

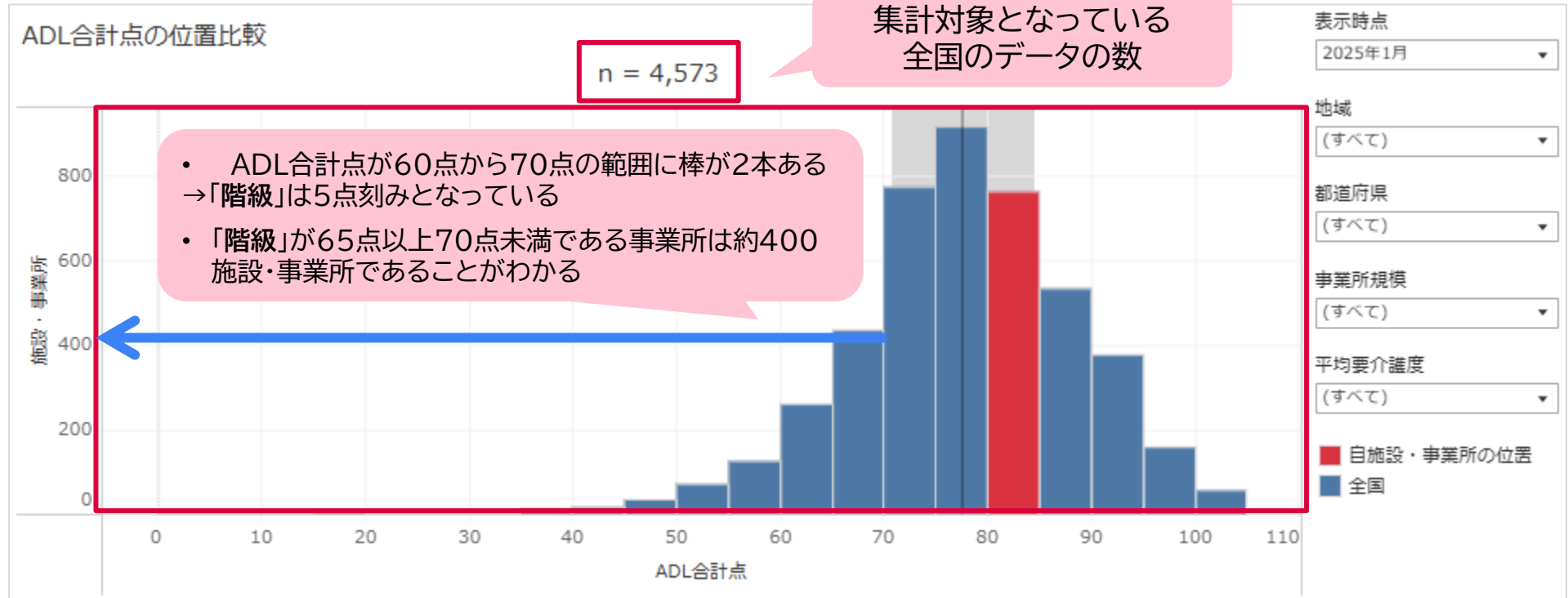
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】科学的介護推進体制加算 事業所フィードバック「ADL合計点の位置比較」

② 集計対象となっている全国のデータの数と分布を確認する



このグラフでは、「階級」が75点以上80点未満の棒が最も高いことから、ADL合計点が75点以上80点未満の介護施設・事業所が全国で最も多いことがわかります。

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの基本的な見方(3/9)

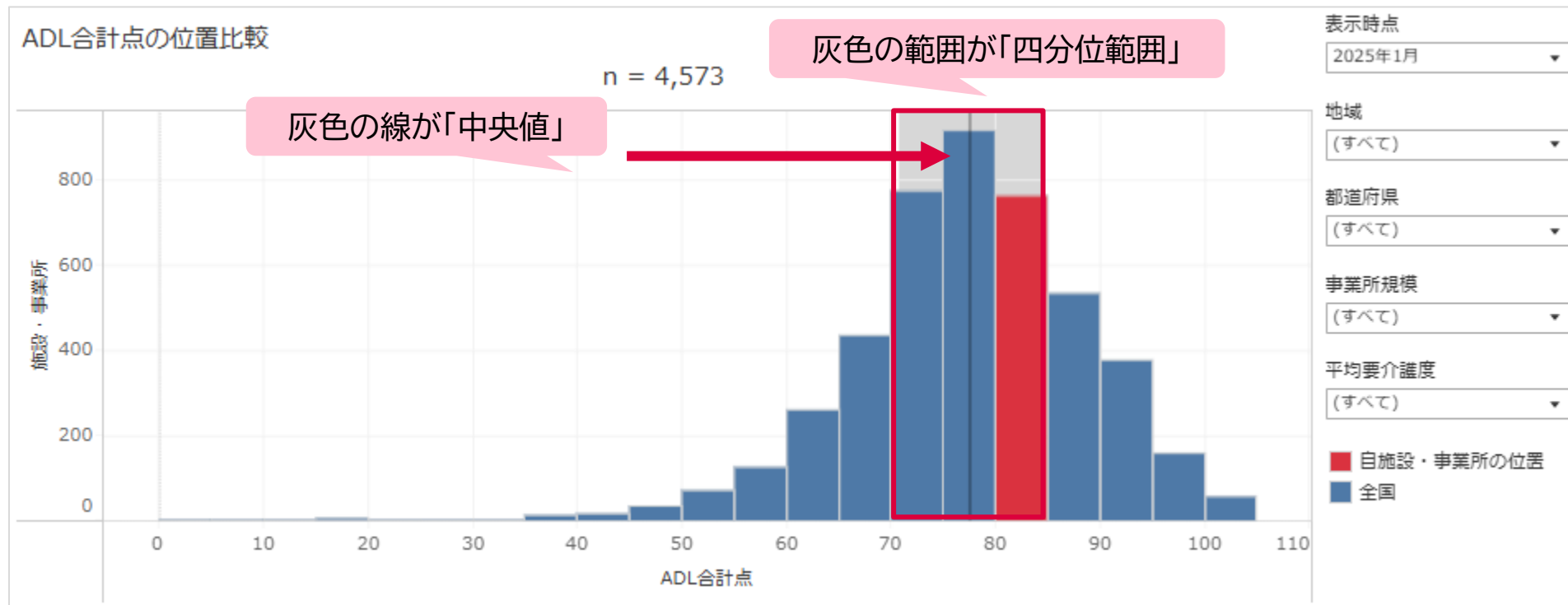
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】科学的介護推進体制加算 事業所フィードバック「ADL合計点の位置比較」

③ 「中央値」と「四分位範囲」を確認する



特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの基本的な見方(4/9)



「中央値」とは何か？

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

「中央値」とは、データを最も小さい値もしくは最も大きい値から順に並べた場合、ちょうど真ん中となる値を指します。

(例) 数値が**奇数個**ある場合
以下5つの数値があった場合、最も小さい数値から並べ、真ん中にあたる「4」が中央値となります。

7 4 3 3 6



3 3 4 6 7

中央値

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの基本的な見方(5/9)



「中央値」とは何か？

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

「中央値」とは、データを最も小さい値もしくは最も大きい値から順に並べた場合、ちょうど真ん中となる値を指します。

(例) 数値が偶数個ある場合

以下6つの数値があった場合、最も小さい数値から並べ、真ん中にあたる「4」と「6」を足し、2で割った値である「5」が中央値となります。

7 4 3 3 6 9

3 3 4 6 7 9

$$(4 + 6) \div 2 = 5$$

「4」と「6」を足して2で割った「5」が中央値

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの基本的な見方(6/9)



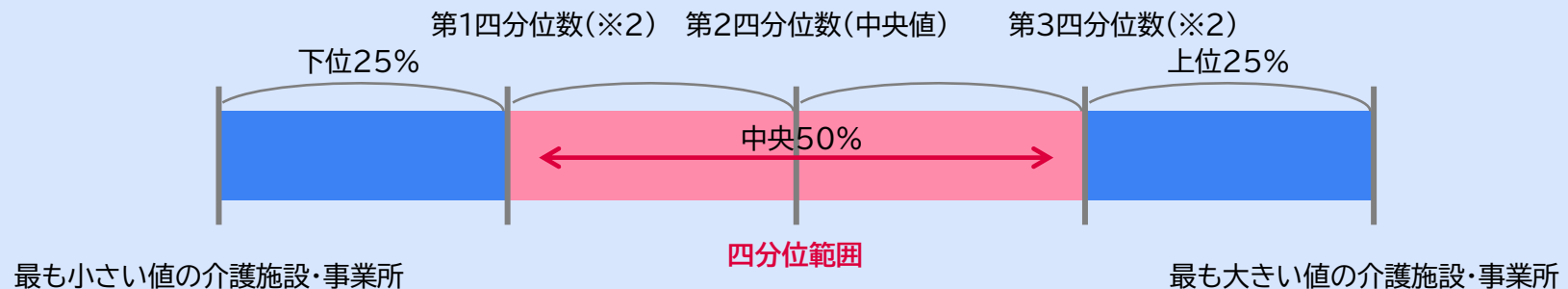
「四分位範囲」とは何か？

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

「四分位範囲」は、データの散らばりを示す指標の一つです。
データを小さい順に並べたとき、上位25%と下位25%の間の範囲を表します。
すなわち、データの中央50%を示しています。
「四分位範囲」は、外れ値(※1)の影響を受けにくいことが特徴です。



※1 外れ値:他と比べて極端に小さな値、あるいは極端に大きな値

※2 データを小さい順に並べた上位25%を第3四分位、下位25%を第1四分位といいます。



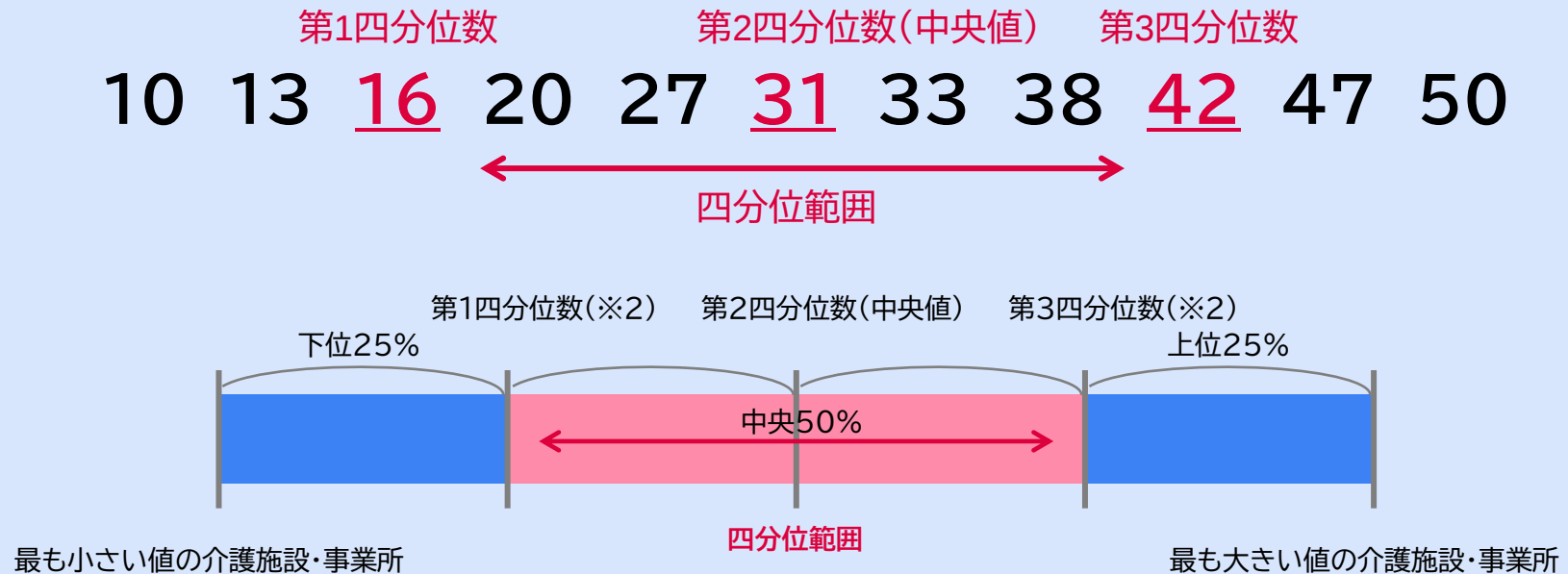
「四分位範囲」とは何か？

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

以下11個の数値があった場合、第1四分位数、第2四分位数、第3四分位数、四分位範囲は以下のとおりです。



特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの基本的な見方(8/9)

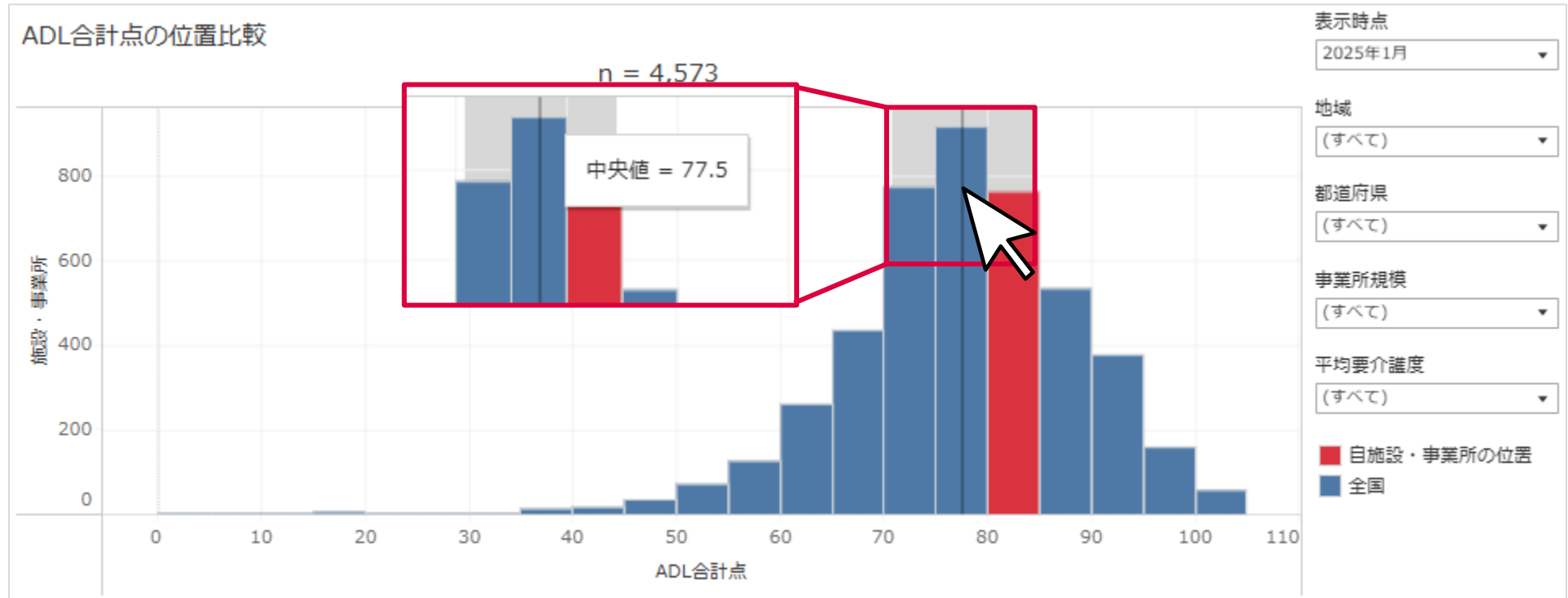
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】科学的介護推進体制加算 事業所フィードバック「ADL合計点の位置比較」

③ 「中央値」と「四分位範囲」を確認する



フィードバック画面では、「中央値」の線や「四分位範囲」の両端にカーソルをあてると、数値を確認することができます。

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの基本的な見方(9/9)

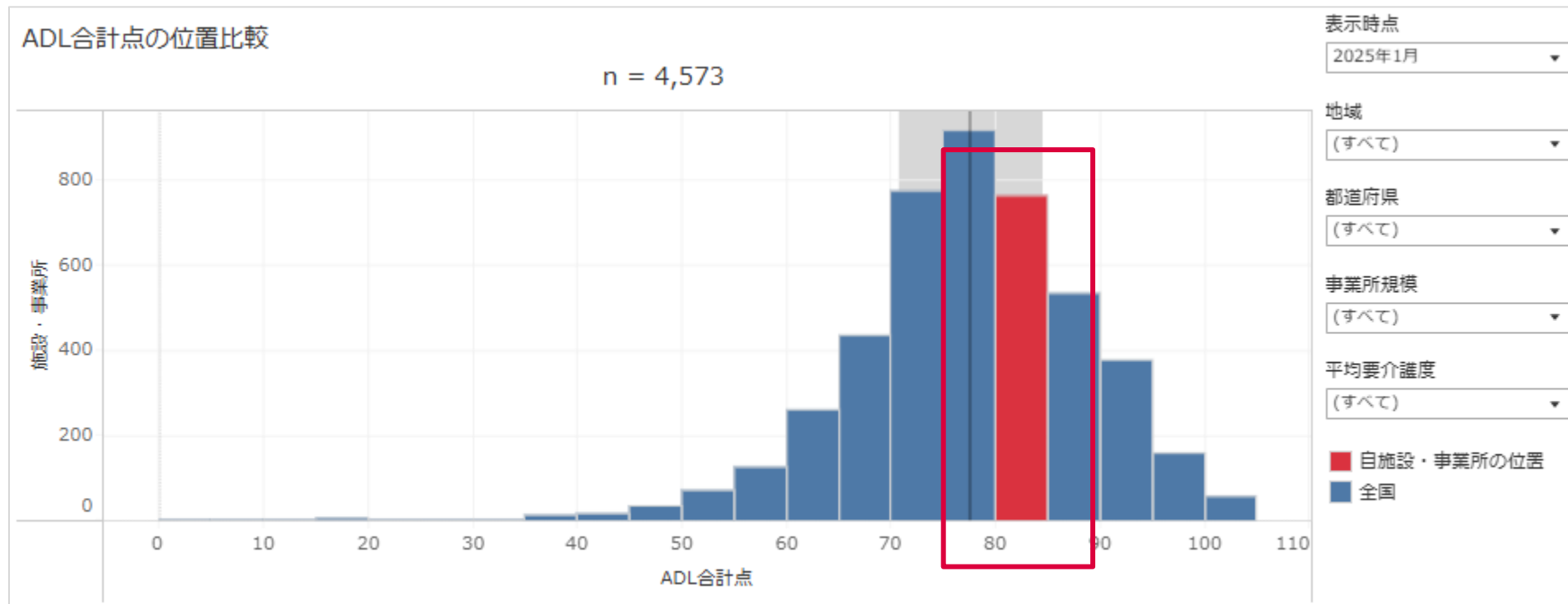
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】科学的介護推進体制加算 事業所フィードバック「ADL合計点の位置比較」

④ 自施設・事業所の位置を確認する



赤色の棒に自施設・事業所のデータが含まれています。

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの解釈例(1/7)

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】排せつ支援加算 事業所フィードバック「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」

■ 条件の設定

おむつを使用している利用者の割合の位置比較
n = 916

表示時点
2024年8月

表示時点を選択

地域
すべて

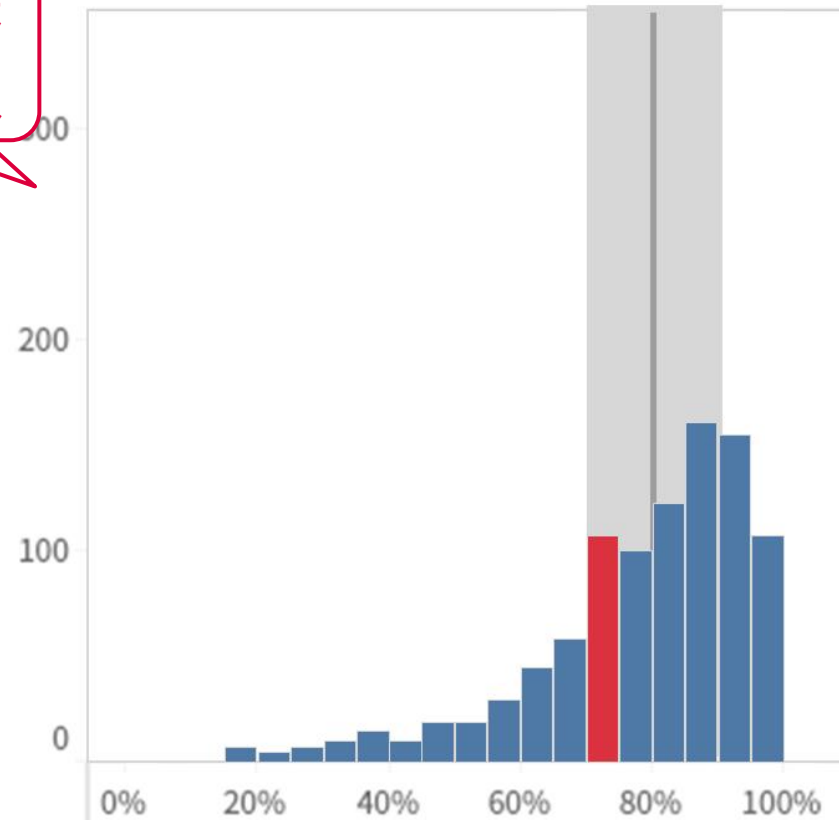
都道府県
すべて

事業所規模
すべて

平均要介護度
4.0以上4.5未満

平均要介護度を
選択

サービス種類は
介護老人福祉
サービスを選択



特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの解釈例(2/7)

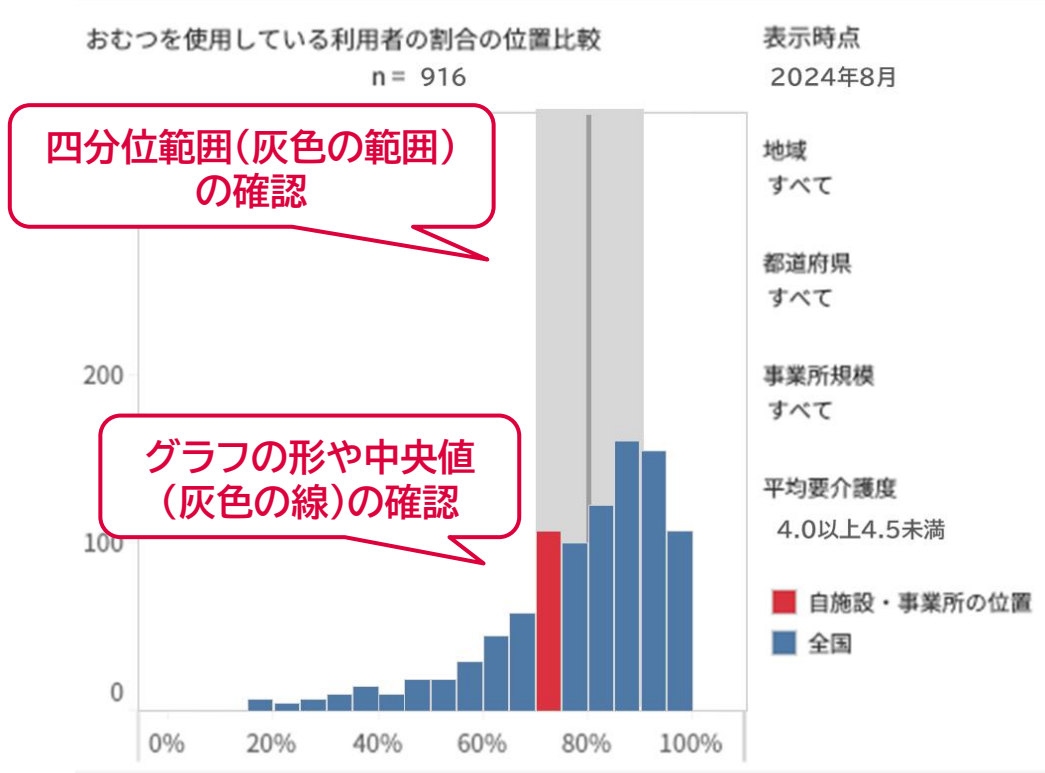
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】排せつ支援加算 事業所フィードバック「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」

■ 全国値の確認



ヒストグラムの山の形から、「おむつを使用している利用者の割合」が85%以上95%未満の介護施設・事業所が最も多いことがわかります。

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの解釈例(3/7)

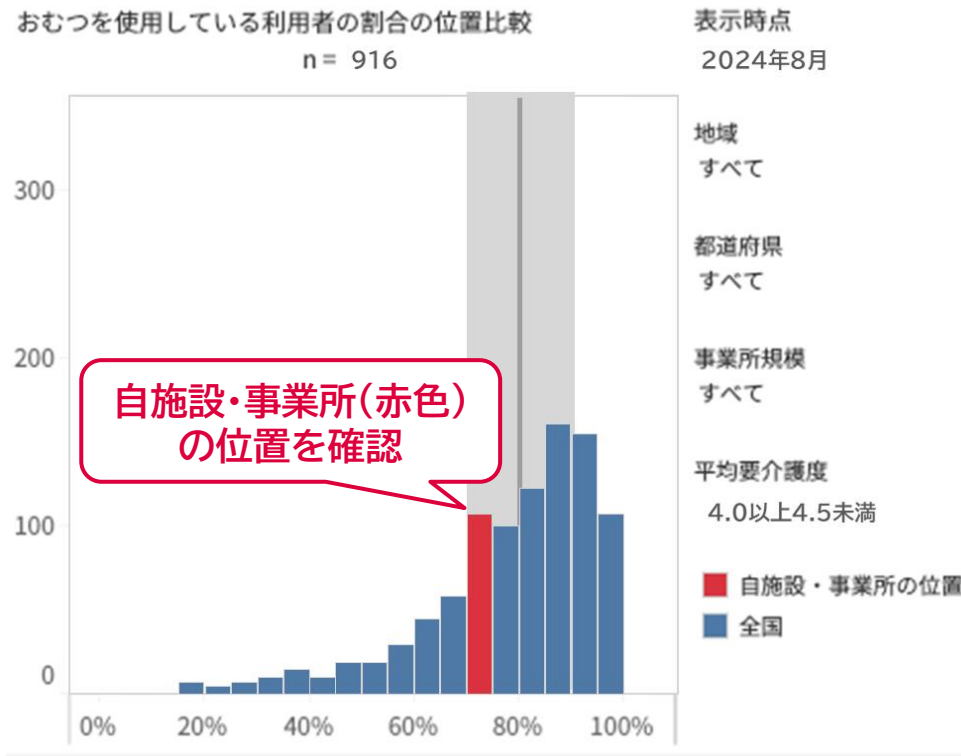
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】排せつ支援加算 事業所フィードバック「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」

■ 自施設・事業所の確認



自施設・事業所は70%以上75%未満の「階級」で、ヒストグラムの山(ピーク)の左側に位置していること、自施設・事業所は、「全体のうち中央50%の介護施設・事業所の集団」に属していることがわかります。

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの解釈例(4/7)

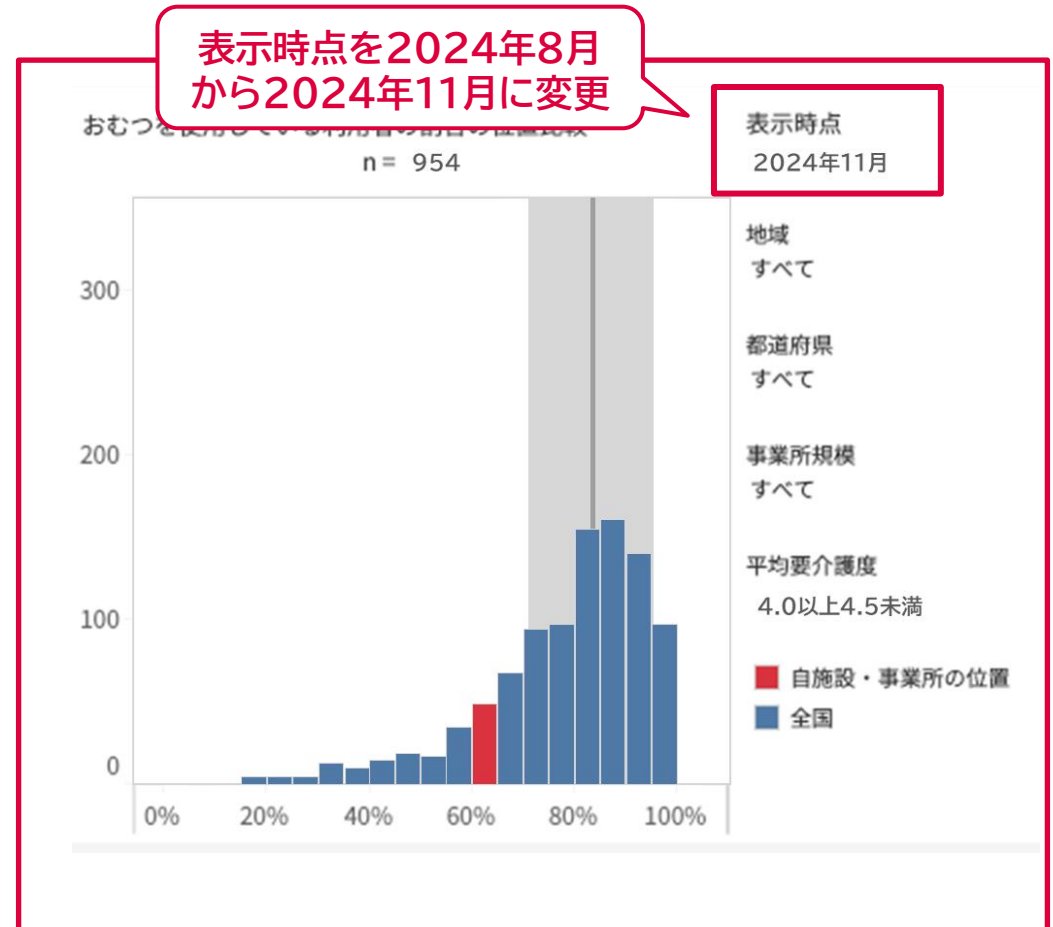
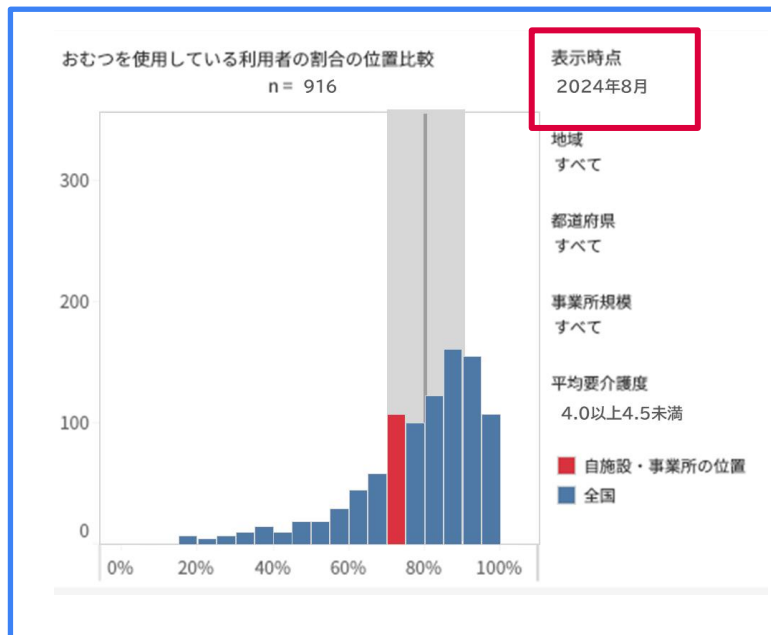
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】排せつ支援加算 事業所フィードバック「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」

■ 表示するグラフの時点変更



特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの解釈例(5/7)

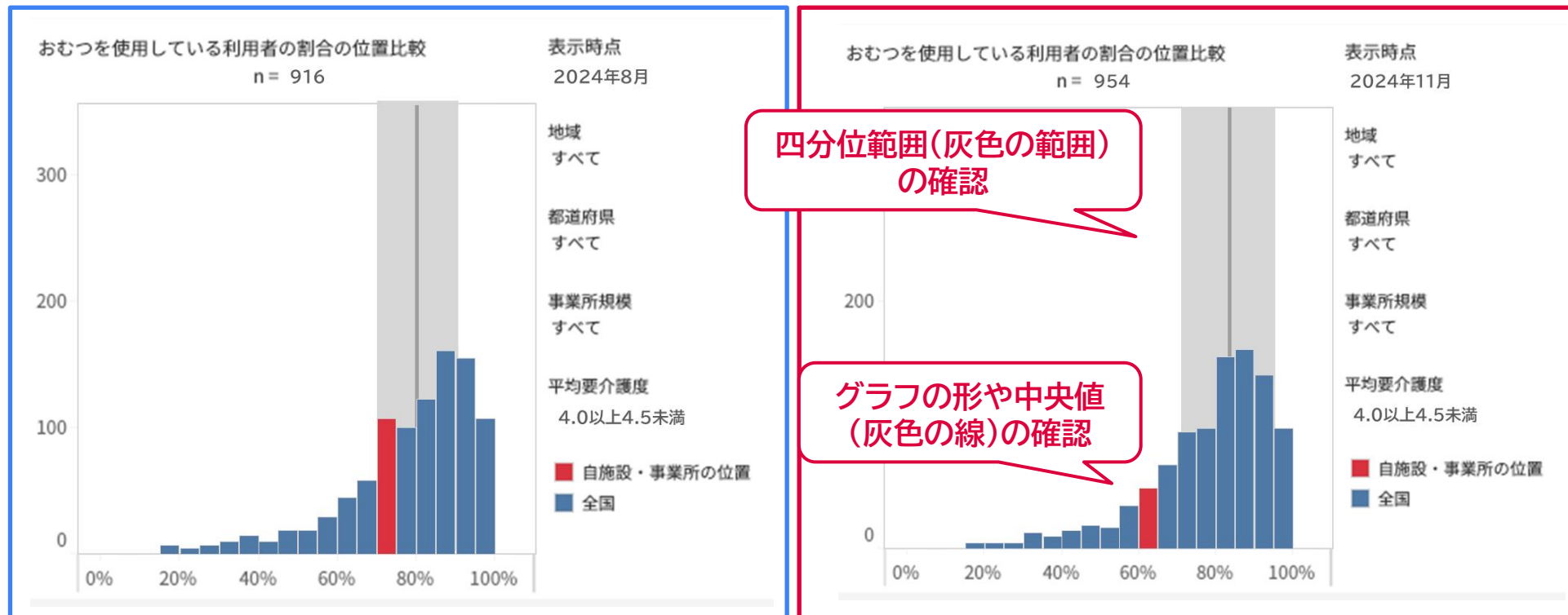
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】排せつ支援加算 事業所フィードバック「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」

■ 全国値の確認(表示時点変更後)



ヒストグラムの山の形や、「中央値」を示す灰色の線、「四分位範囲」を示す灰色の範囲の位置から、2024年8月時点と全国値の傾向はほとんど変わらないことがわかります。

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの解釈例(6/7)

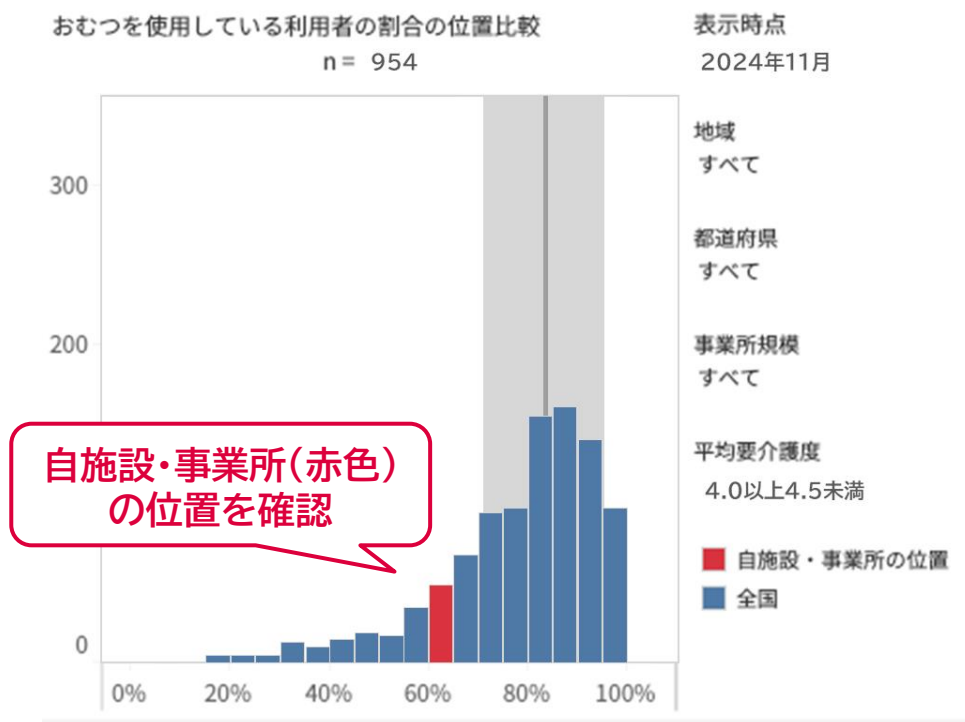
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】排せつ支援加算 事業所フィードバック「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」

■ 自施設・事業所の確認(表示時点変更後)



自施設・事業所は60%以上65%未満の「階級」で、ヒストグラムの山(ピーク)の左側のすそ野に位置していること、自施設・事業所は、「おむつを使用している利用者の割合が小さい集団」に属していることがわかります。

特徴的なグラフ①ヒストグラム グラフの解釈例(7/7)

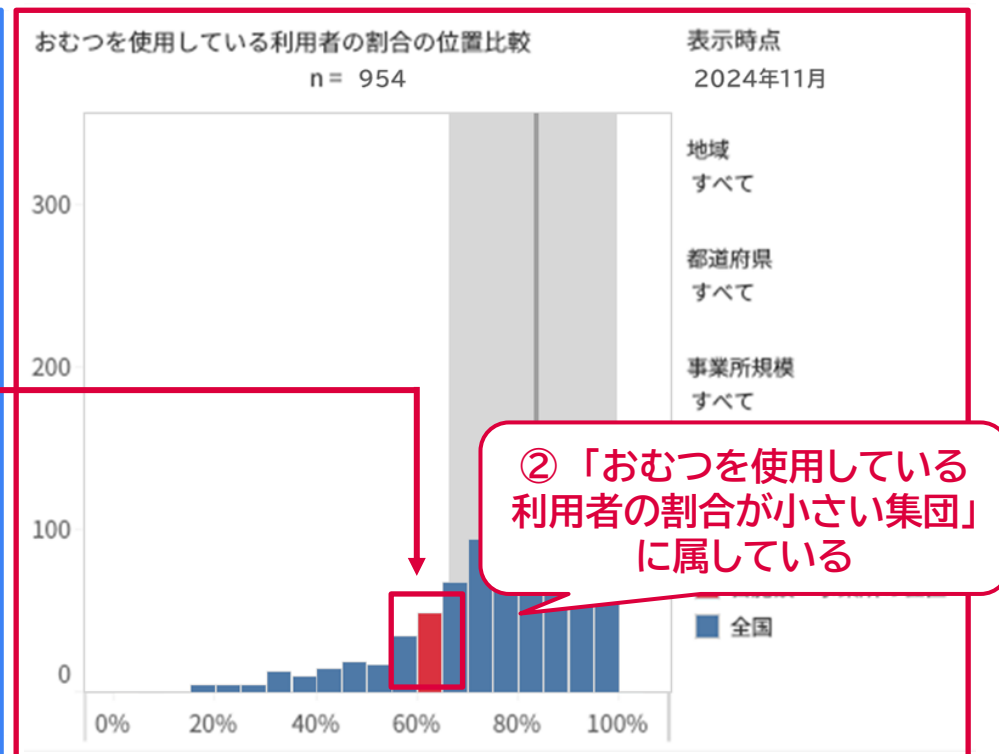
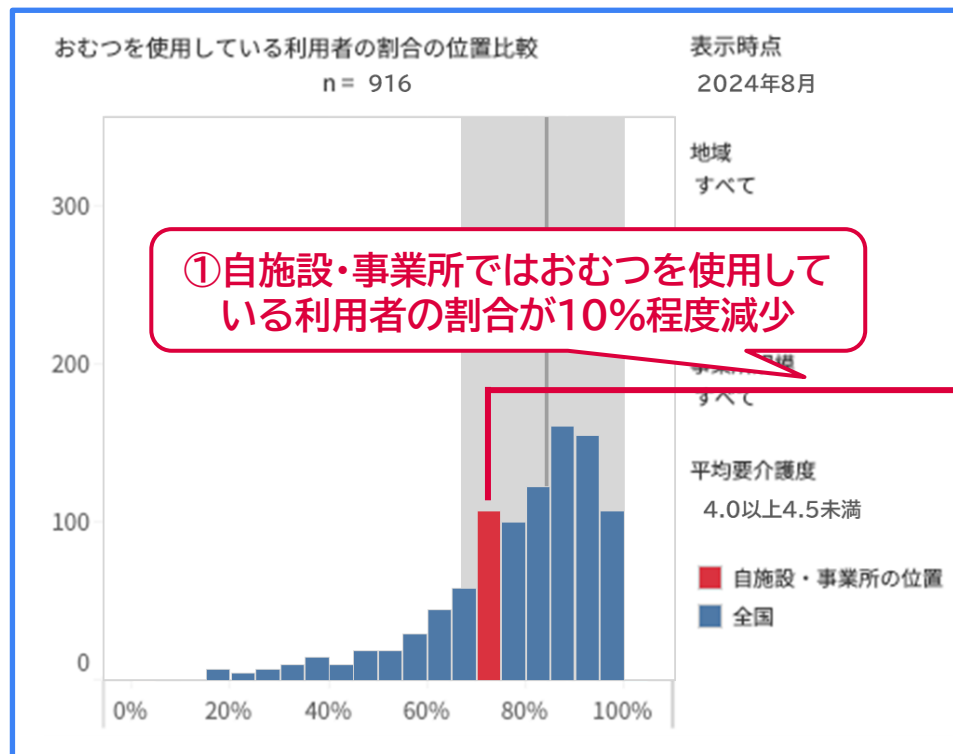
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】排せつ支援加算 事業所フィードバック「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」

■ 2024年8月と2024年11月の比較からわかること



グラフに対して条件を設定することで、自施設・事業所と類似した施設・事業所に絞り込んで比較を行うことができます。

特徴的なグラフ②レーダーチャート グラフの概要

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

グラフが示す
内容

- 複数の項目の大小を1つのグラフの中で示します。

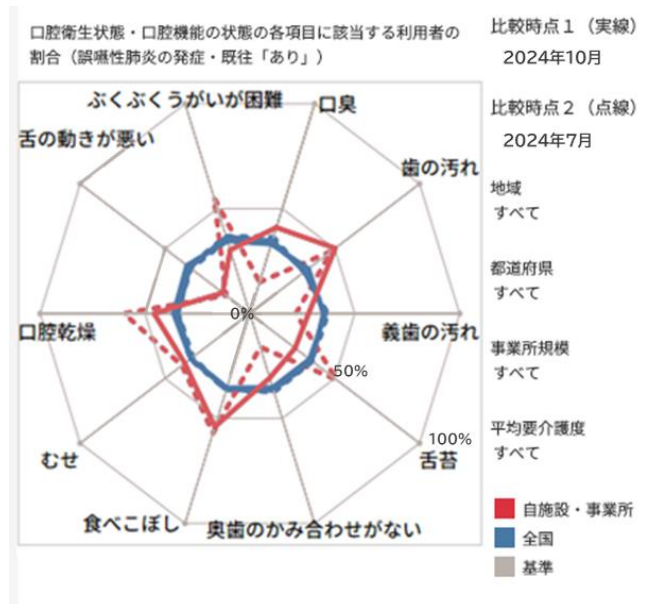
グラフを含む
フィードバック

事業所フィードバック

グラフ例

- 口腔衛生管理加算、口腔機能向上加算(Ⅱ)及び(Ⅱ)イ・ロ「口腔衛生状態・口腔機能の状態の各項目に該当する利用者の割合(かかりつけ歯科医「あり/なし」)」
- 排せつ支援加算「排せつに関するADL各項目」

【グラフィメージ】



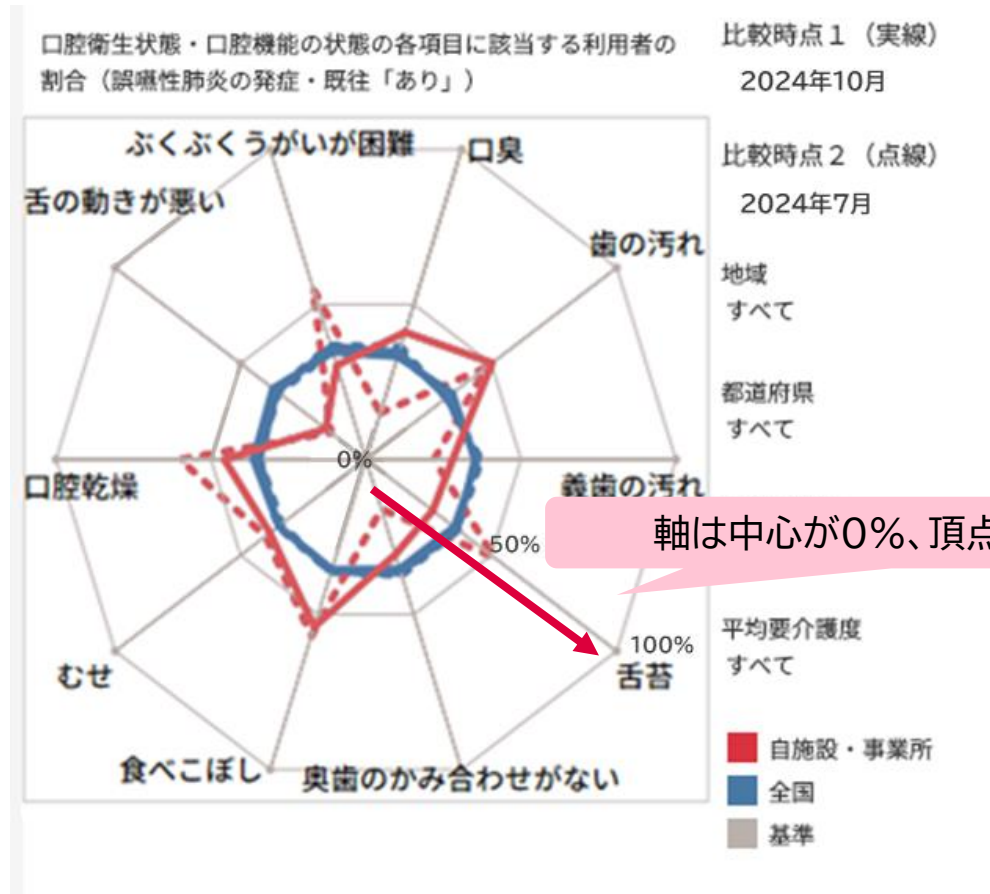
特徴的なグラフ②レーダーチャート グラフの基本的な見方(1/7)

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】口腔衛生管理加算、口腔機能向上加算(Ⅱ)及び(Ⅱ)イ・ロ 事業所フィードバック
「口腔衛生状態・口腔機能の状態の各項目に該当する利用者の割合(誤嚥性肺炎の発症・既往「あり」)」



軸は中心が0%、頂点が100%を示す

特徴的なグラフ②レーダーチャート グラフの解釈例(1/4)

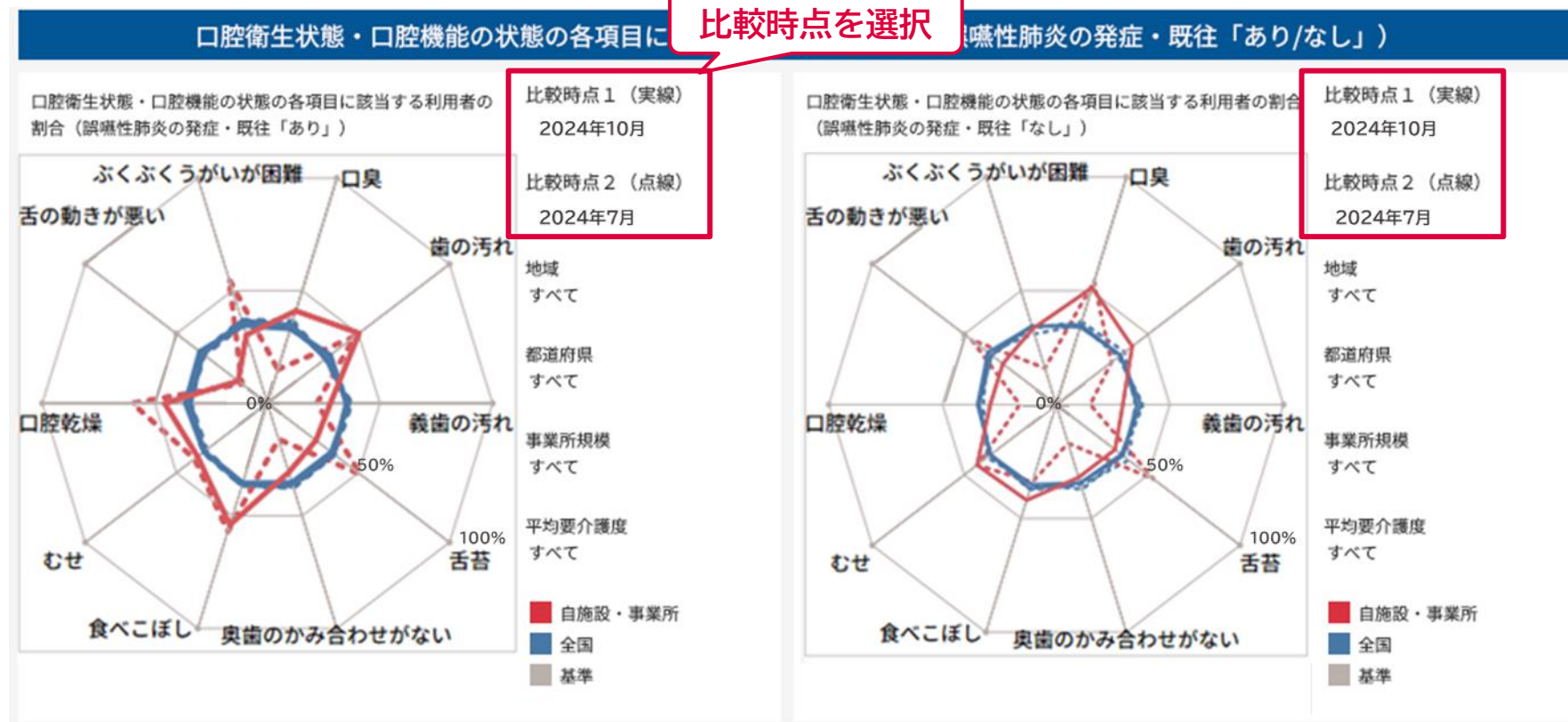
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】口腔衛生管理加算、口腔機能向上加算(Ⅱ)及び(Ⅱ)イ・ロ 事業所フィードバック
「口腔衛生状態・口腔機能の状態の各項目に該当する利用者の割合(誤嚥性肺炎の発症・既往「あり/なし」)」

■ 比較時点の設定



「比較時点1」のグラフは実線、「比較時点2」のグラフは点線で表示されます。

特徴的なグラフ②レーダーチャート グラフの解釈例(2/4)

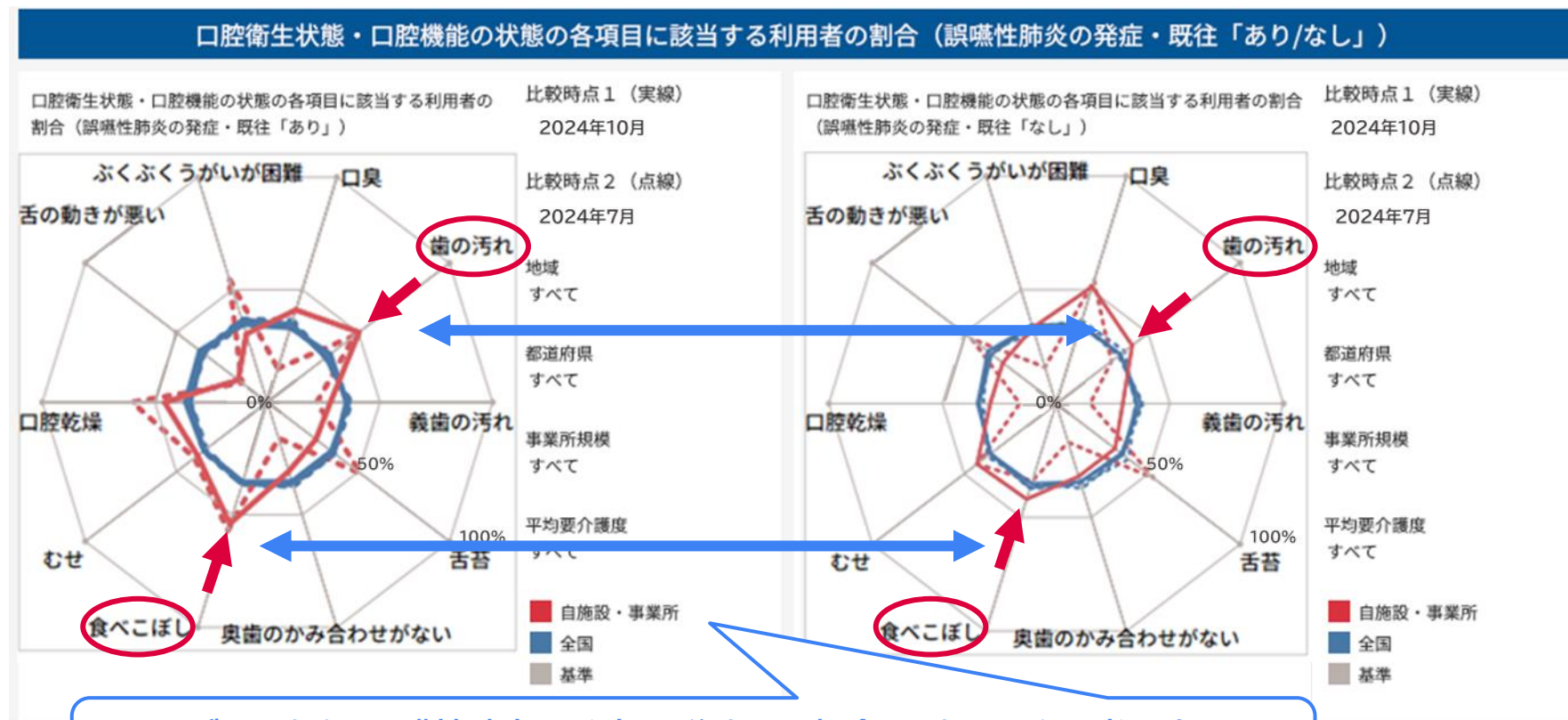
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】口腔衛生管理加算、口腔機能向上加算(Ⅱ)及び(Ⅱ)イ・ロ 事業所フィードバック
「口腔衛生状態・口腔機能の状態の各項目に該当する利用者の割合(誤嚥性肺炎の発症・既往「あり/なし」)」

■ 自施設・事業所のデータの確認



このグラフから、誤嚥性肺炎の発症・既往ありの場合は、なしの利用者と比べて「歯の汚れ」や「食べこぼし」の問題点をもつ利用者の割合が多いことが読み取れる。

特徴的なグラフ②レーダーチャート グラフの解釈例(3/4)

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】口腔衛生管理加算、口腔機能向上加算(Ⅱ)及び(Ⅱ)イ・ロ 事業所フィードバック
「口腔衛生状態・口腔機能の状態の各項目に該当する利用者の割合(誤嚥性肺炎の発症・既往「あり/なし」)」

■ 自施設・事業所のデータの確認



「歯の汚れ」や「食べこぼし」の問題点をもつ利用者の割合は
2024年7月と10月でほとんど変化していない

特徴的なグラフ②レーダーチャート グラフの解釈例(4/4)

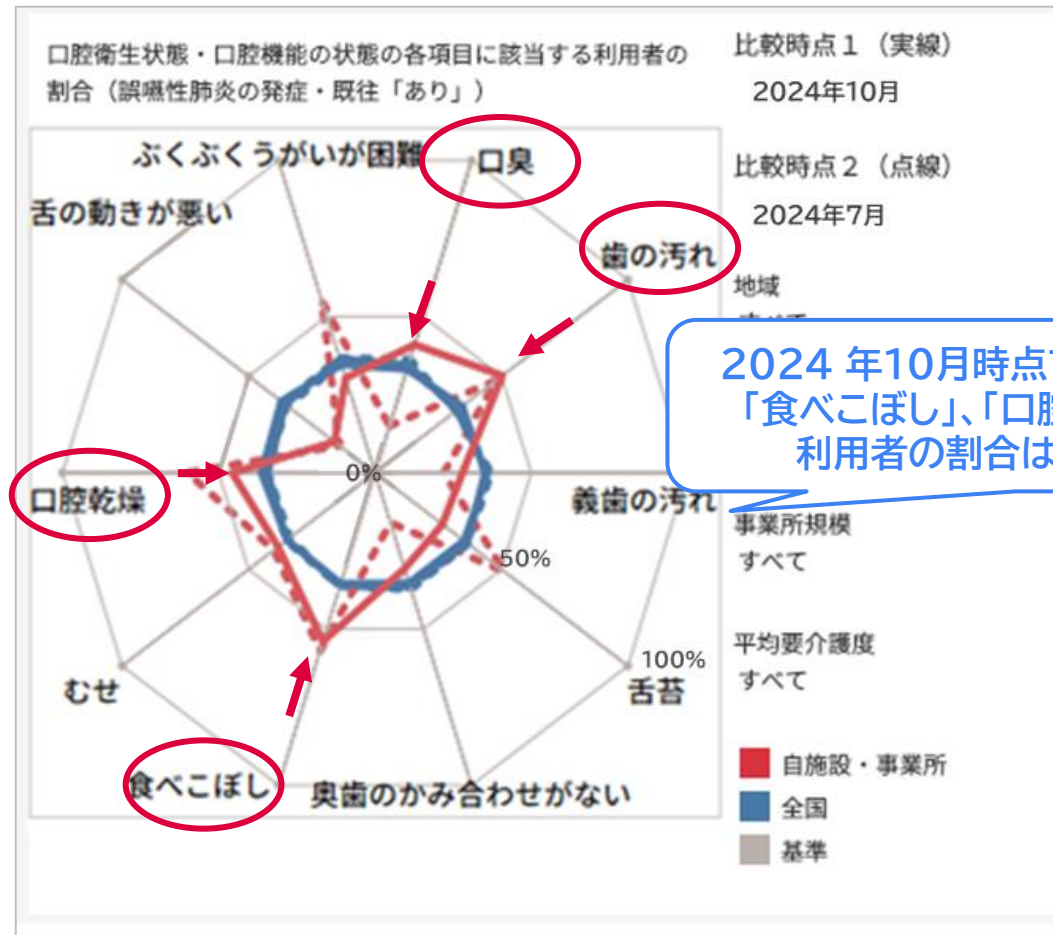
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】口腔衛生管理加算、口腔機能向上加算(Ⅱ)及び(Ⅱ)イ・ロ 事業所フィードバック
「口腔衛生状態・口腔機能の状態の各項目に該当する利用者の割合(誤嚥性肺炎の発症・既往「あり/なし」)」

■ 全国値との比較



2024年10月時点で、「口臭」、「歯の汚れ」、「食べこぼし」、「口腔乾燥」の問題点をもつ利用者の割合は、全国平均より高い

特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの概要

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

グラフが示す
内容

- データのばらつきを視覚的に示します。

グラフを含む
フィードバック

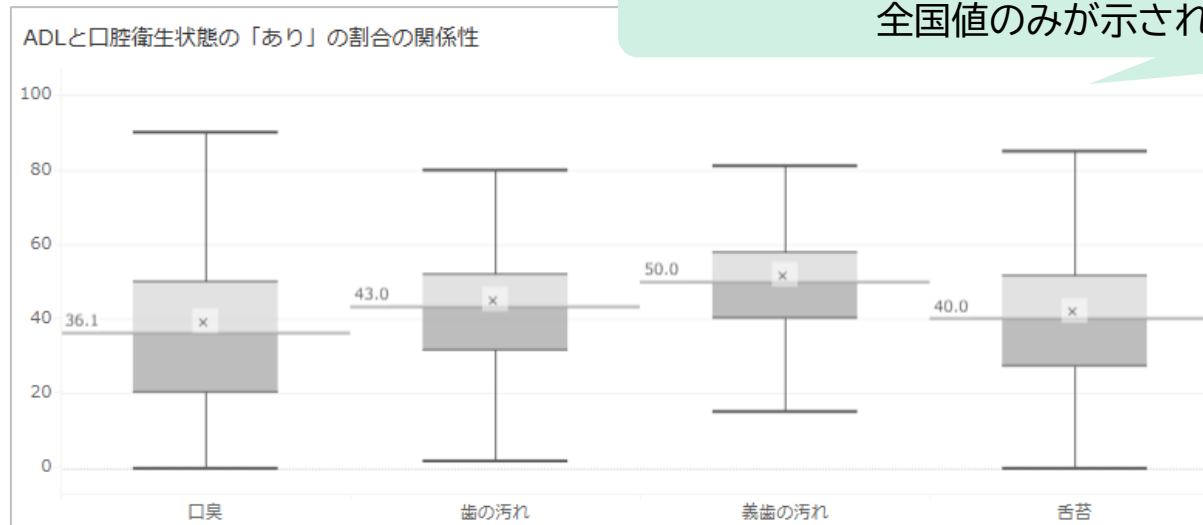
事業所フィードバック

グラフ例

- 個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」
- 栄養マネジメント強化加算・栄養アセスメント加算「低栄養状態のリスクレベル別エネルギー充足率」

【グラフィメージ】

箱ひげ図は、自施設・事業所のデータは表示されず、
全国値のみが示されます



特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの基本的な見方(1/4)

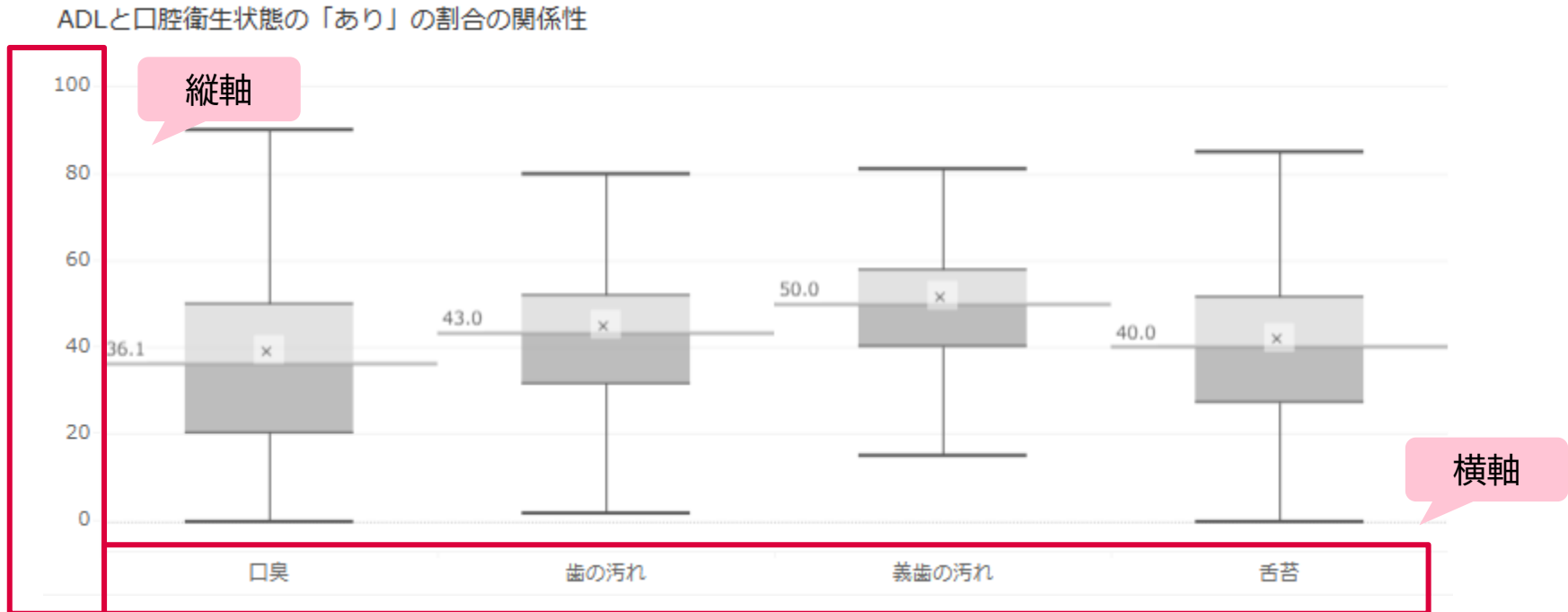
【グラフ例】個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック
「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

① 縦軸・横軸が何か確認する



このグラフでは、
縦軸: ADL合計点(単位:点)
横軸: 「口腔衛生状態」の各項目
を示しています。

特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの基本的な見方(2/4)

【グラフ例】個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック
「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」

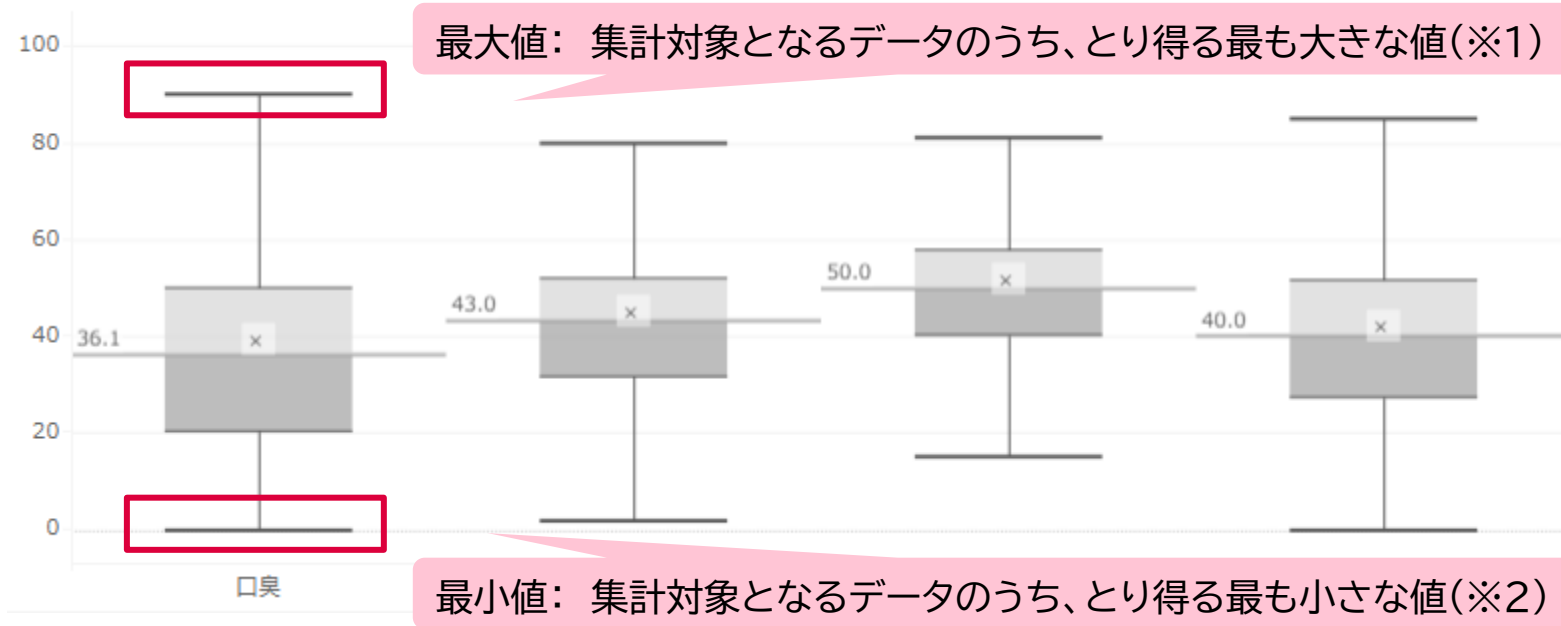
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

② 最大値・最小値を確認する

ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性



(※1)以下の計算式に基づく値を超える値があった場合、最大値としては計算値を上限とする範囲で最も大きい値が示されます。

【計算式】

第3四分位数 + 1.5 × (第3四分位数 - 第1四分位数)

(※2)以下の計算式に基づく値を下回る値があった場合、最小値としては計算値を下限とする範囲で最も小さい値が示されます。
ただし、縦軸の最小値が0である場合には、とり得る下限値は0となります。

【計算式】

第3四分位数 - 1.5 × (第3四分位数 - 第1四分位数)

特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの基本的な見方(3/4)

【グラフ例】個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック
「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」

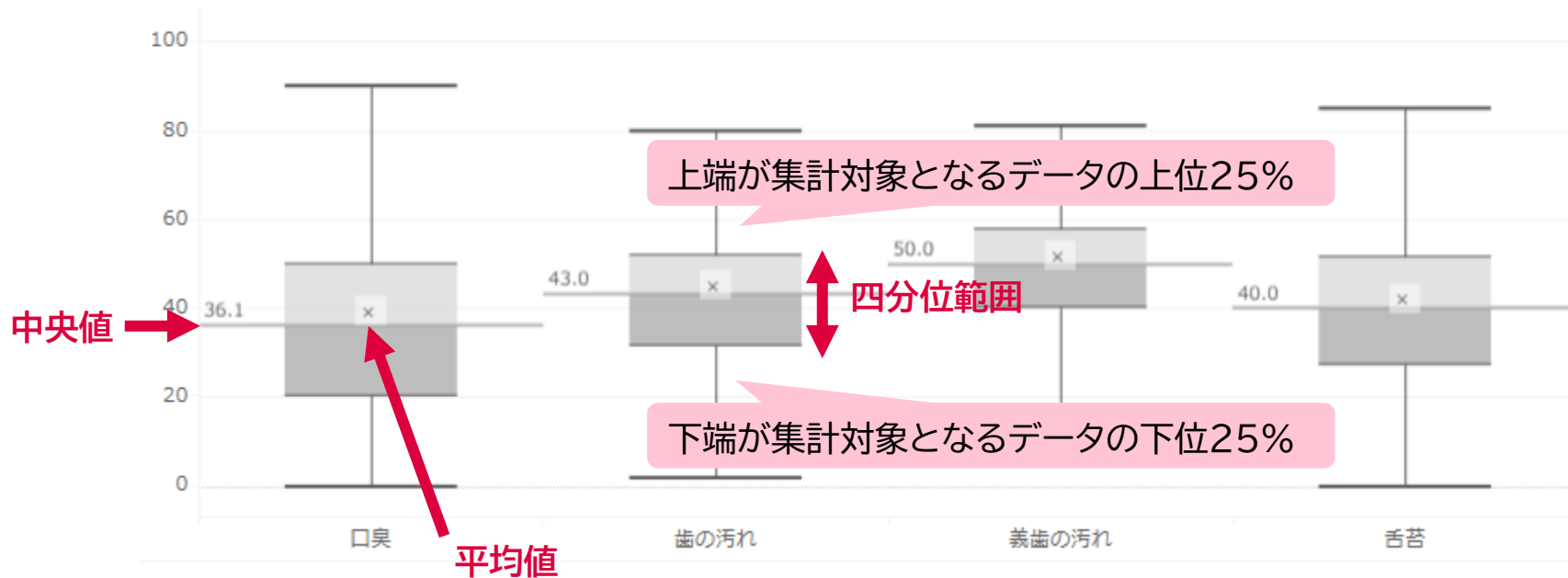
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

② 平均値・中央値・四分位範囲を確認する

ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性



特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの基本的な見方(4/4)

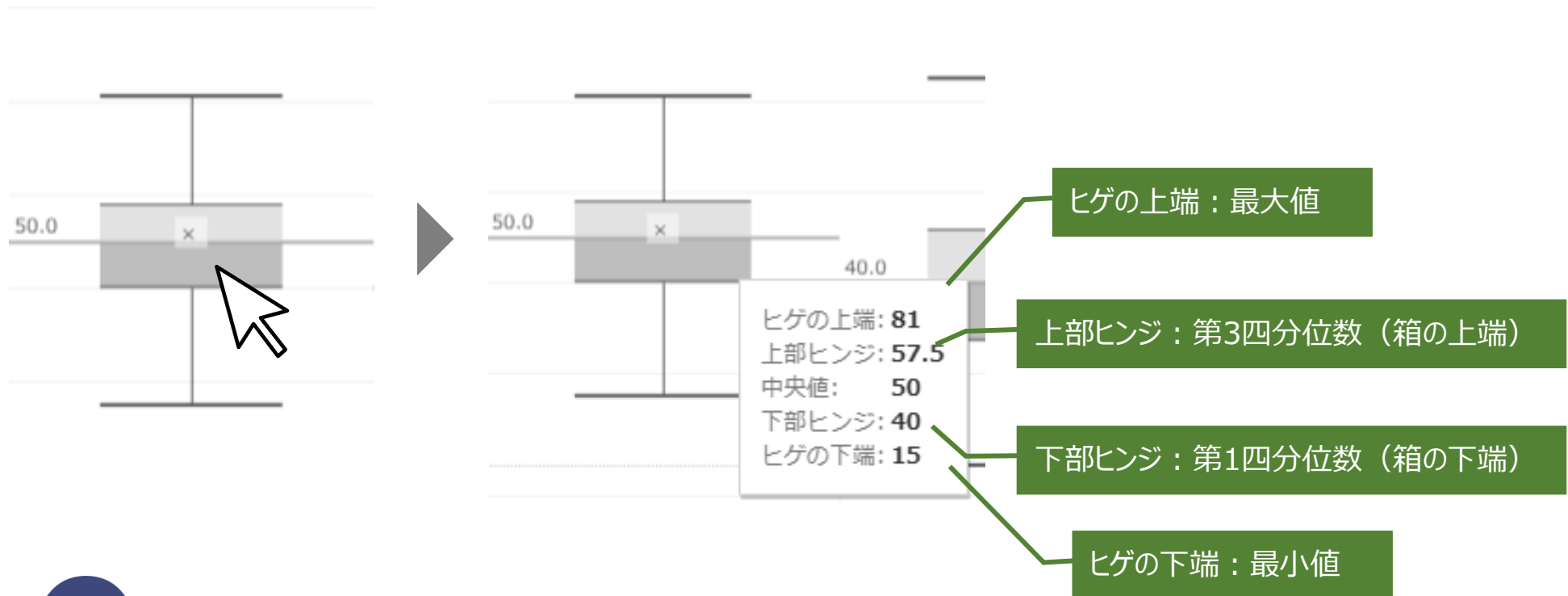
【グラフ例】個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック
「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」

グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

② 平均値・中央値・四分位範囲を確認する



フィードバック画面上では、グラフにカーソルをあてると詳細な数値を確認することができます。

特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの解釈例(1/4)

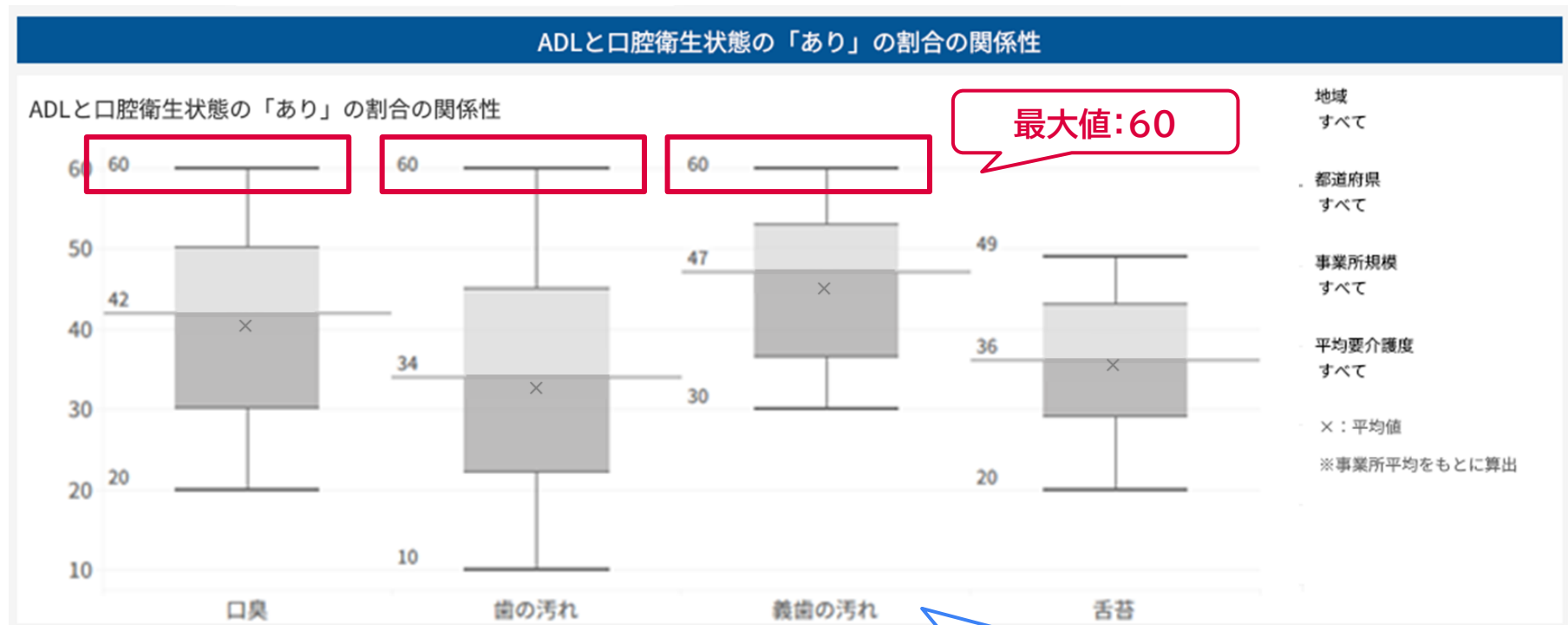
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック
「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」

■ ADLの最大値と最小値を確認する



口腔衛生状態の4つの項目のうち、「口臭」、「歯の汚れ」、「義歯の汚れ」に課題がある利用者はADLの最大値が60

特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの解釈例(2/4)

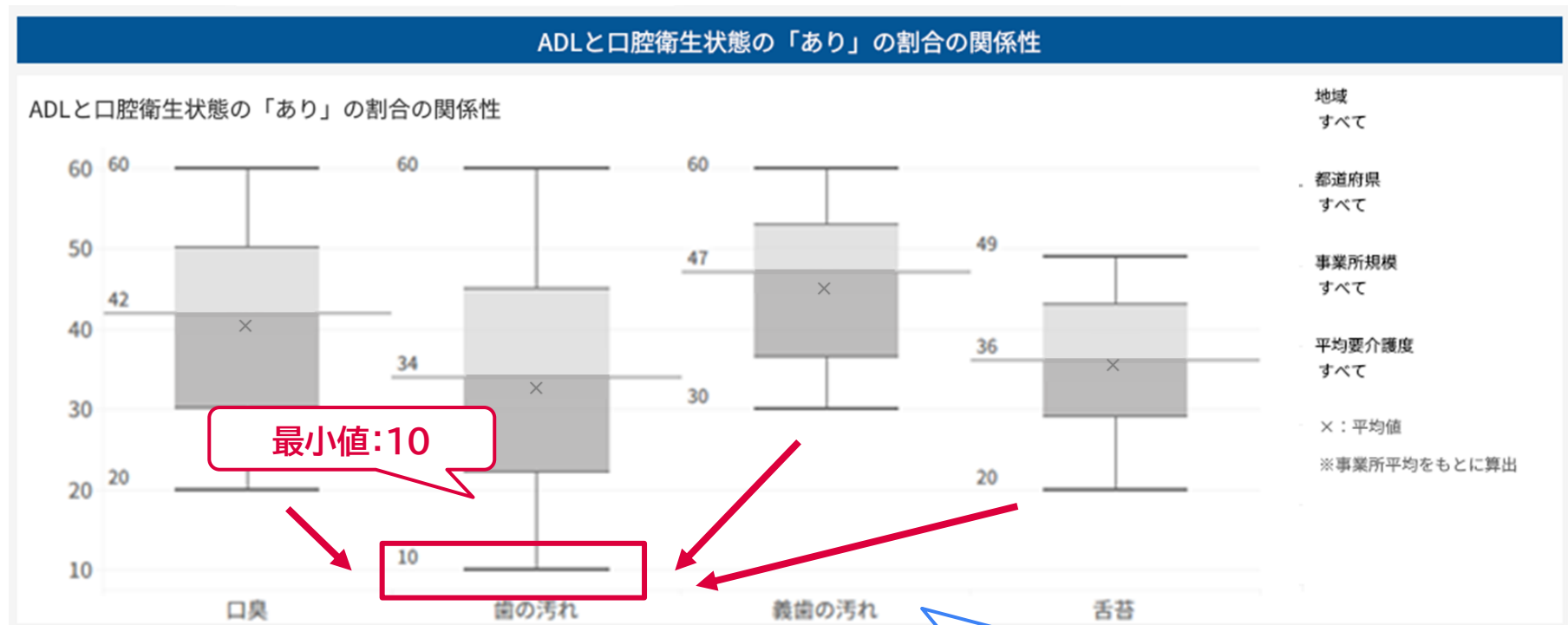
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック
「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」

■ ADLの最大値と最小値を確認する



「歯の汚れ」については、ADLの最小値が10を示しており、ほかの項目よりも自立度が低い利用者が該当している

特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの解釈例(3/4)

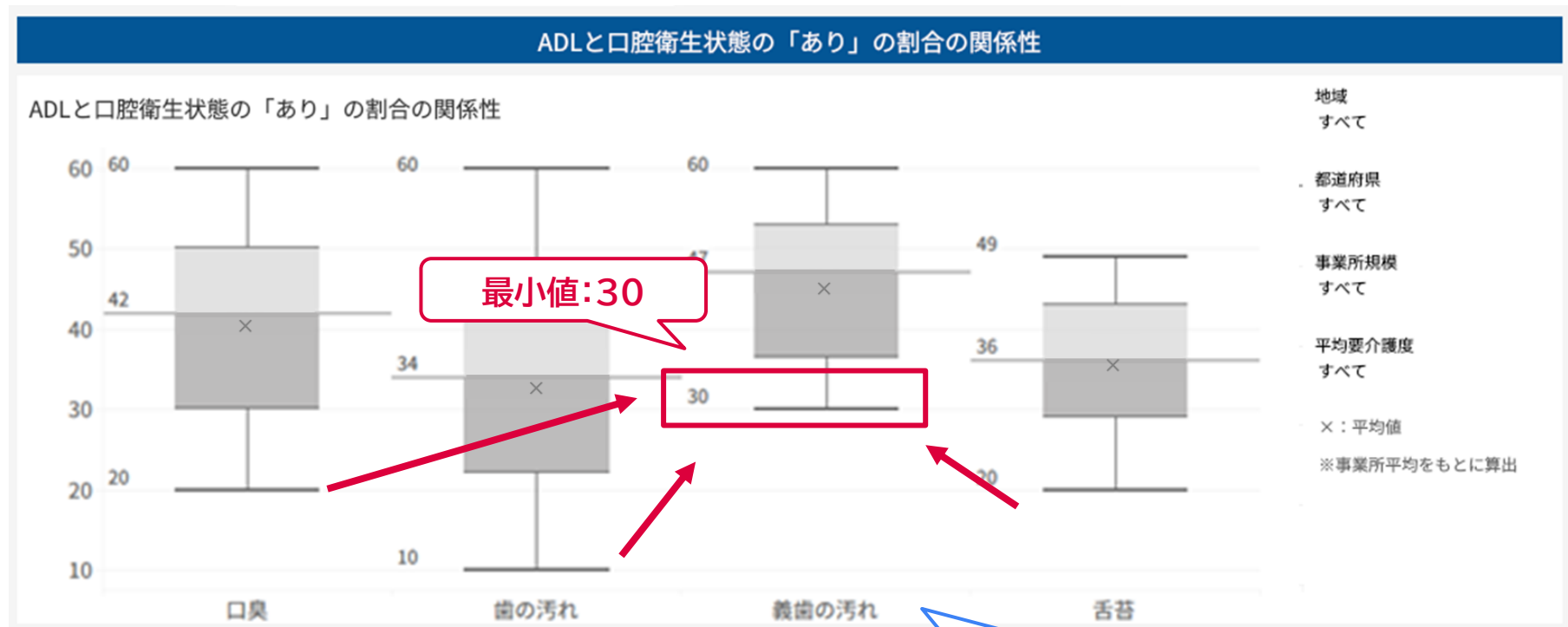
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック
「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」

■ ADLの最大値と最小値を確認する



「義歯の汚れ」については、ADLの最小値が30であり、ほかの項目よりも自立度が高い利用者が該当している

特徴的なグラフ③箱ひげ図 グラフの解釈例(4/4)

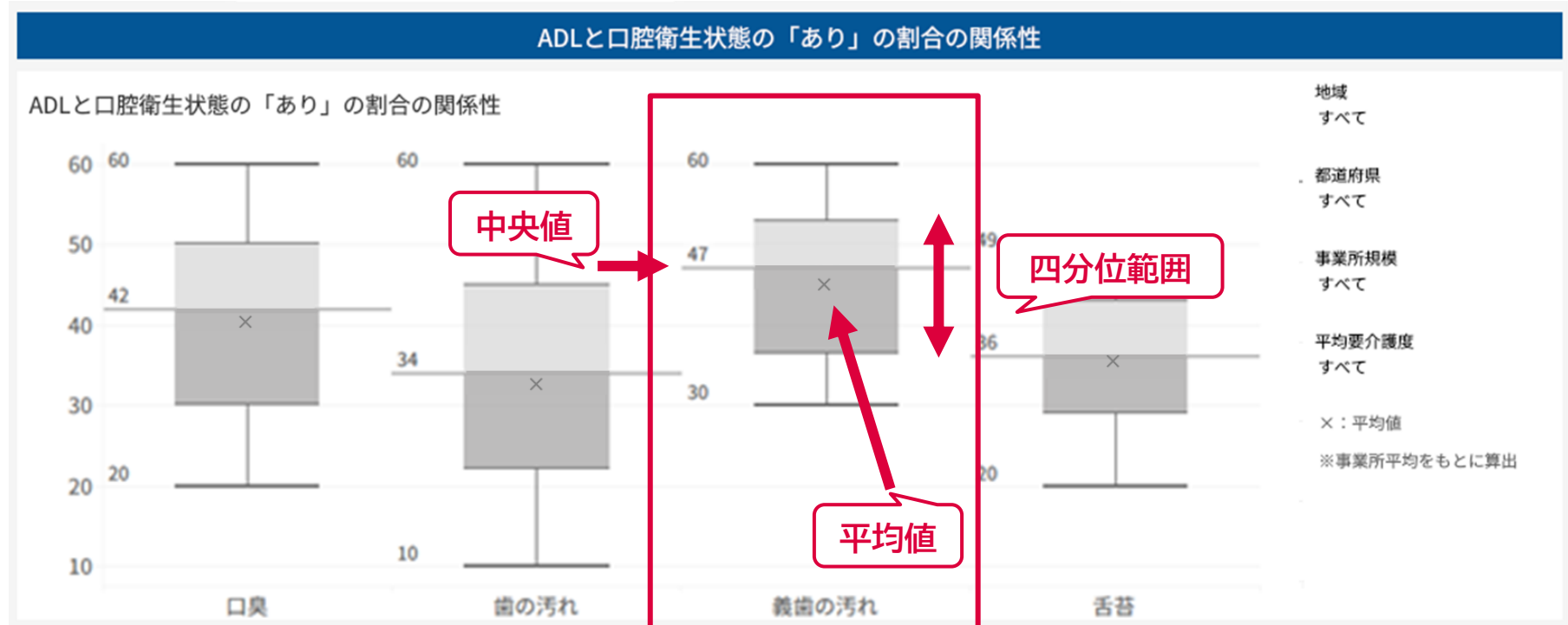
グラフ概要

基本的な見方

グラフ解釈例

【グラフ例】個別機能訓練・栄養・口腔/リハ・栄養・口腔 事業所フィードバック
「ADLと口腔衛生状態の「あり」の割合の関係性」

■ ADLの平均値、中央値、四分位範囲を比較する



「義歯の汚れ」が「あり」の場合は平均値と中央値が最も大きく、四分位範囲を示す箱も他の項目よりも高い位置にあることから、「義歯の汚れ」に該当する利用者は、ADLが高い(自立度が高い)ことがわかります

フィードバックに含まれるグラフを解釈する際の留意点

- フィードバックに含まれるグラフを解釈する際には、以下の点にご留意ください。

Point !

- 項目によって、数値が大きいほど状態が良い可能性がある場合と、数値が小さいほど状態が良い可能性がある場合があります。そのため、数値の大小や増減は、項目の内容と合わせて確認してください。

(例)数値が大きいほど状態が良い可能性がある場合： ADL合計点

数値が小さいほど状態が良い可能性がある場合： 口腔関連項目における「あり」の割合

- 自施設・事業所の過去の数値と比較して変化が見られない場合、「変化がない」ことに着目し、その要因を検討しましょう。施設・事業所の取組によって良い数値が維持されていること、低い数値が維持され施設・事業所の課題となっていること等、「変化がない」ことにも様々な意味が考えられます。
- 全国のは、あくまでも「比較するためのひとつの目安」として捉えましょう。必ずしも日々のケアの良し悪しを判断するための基準ではないことにご留意ください。

- 本セクションでご説明した内容は、「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)利活用の手引き」に記載しています。



Ⅶ. フィードバックの活用について

(2) グラフの見方について

LIFE より提供されるフィードバックでは、自施設・事業所の利用者の状態の変化や、全国の同じサービスの介護施設・事業所における相対的な位置を捉えるため、指標のデータが様々な種類の図やグラフで表示されます。フィードバックに含まれる図やグラフを解釈する際には、以下の点にご留意ください。

Point!

- 項目によって、数値が大きいほど状態が良い可能性がある場合と、数値が小さいほど状態が良い可能性がある場合があります。そのため、数値の大小や増減は、項目の内容と合わせて確認してください。
- 自施設・事業所の過去の数値と比較して変化が見られない場合、「変化がない」ことに着目し、その要因を検討しましょう。施設・事業所の取組によって良い数値が維持されていること、低い数値が維持され施設・事業所の課題となっていること等、「変化がない」ことにも様々な意味が考えられます。
- 全国の値は、あくまでも「比較するためのひとつの目安」として捉えましょう。必ずしも日々のケアの良し悪しを判断するための基準ではないことにご留意ください。

本項では、フィードバックにおいて特徴的なグラフであるヒストグラム、レーダーチャート、箱ひげ図の見方について記載します。

(ア) ヒストグラム

- 青が階級ごとに当てはまる介護施設・事業所の数を表します。
- 赤が自施設・事業所が含まれる位置を示します。
- 灰色の背景の箇所は全データのうち最小値から最大値を並べた場合、中央の値から50%に含まれる範囲を示しています。
- 例えば、図表54は排せつ支援加算の「おむつを使用している利用者の割合の位置比較」のグラフです。横軸におむつを使用している利用者の割合の階級があり、縦軸にその範囲に含まれる介護施設・事業所数が表示されています。図表54では自施設・事業所が、おむつを使用している利用者の割合が65%から70%の範囲にあります。これは全施設・事業所(※)からするとやや低い位置に位置していることがわかります。

(※)フィードバックでは、閲覧したいサービス種類を選択するため、自施設・事業所と同じサービス種類の施設・事業所のデータが全国の値として示されます。

図表 54 ヒストグラム イメージ

- データの詳細な集計要件は「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)利活用の手引き(付録 フィードバック集計条件)」に記載しています。

ケアの質の向上に向けた 科学的介護情報システム(LIFE) 利活用の手引き

令和6年度介護報酬改定 対応版

付録 フィードバック集計要件

(2025年2月26日公開版)

事業所

2. 各加算の集計条件等（事業所フィードバック）

(1) 科学的介護推進体制加算 【基本情報】

用語の解説

対象者：各指標の集計の対象となる利用者を指します。割合を示す指標においては、分母の数値となります。

「使用する項目のデータが登録されている利用者」

→当該項目において、データが登録されている利用者が集計の対象となります。

「全ての使用する項目において、データが登録されている利用者」

→指標が複数の項目で構成されている場合、当該項目全てのデータが登録されている利用者が集計の対象となります。（例：ADL合計点）

該当者：各指標の「対象者」のうち、指標が示す内容や区分に該当する利用者を指します。割合を示す指標においては分子の数値となります。

【基本情報】

指標名称	データ			グラフ		
	使用する項目	集計条件等		種類	縦軸 (単位)	横軸 (単位)
		対象者 (絞り込み)	該当者	計算方法		
要介護度の割合	要介護度	使用する項目のデータが登録されている利用者	・各区分に該当する利用者 ・区分は、以下の8つとする 事業対象者 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5	各区分の該当者数 ÷対象者数	(横) 積み上げ 100%棒グラフ	時点 (年、月) 割合 (%)
年齢の割合	生年月日	使用する項目のデータが登録されている利用者	・各年齢区分に該当する利用者 ・年齢区分は、以下の7つとする 65歳未満 65歳以上70歳未満 70歳以上75歳未満 75歳以上80歳未満 80歳以上85歳未満 85歳以上90歳未満 90歳以上	・集計時点の日付と生年月日から利用者の年齢を算出する ・各区分の該当者数 ÷対象者数	(横) 積み上げ 100%棒グラフ	時点 (年、月) 割合 (%)
障害高齢者の日常生活自立度の割合	障害高齢者の日常生活自立度	使用する項目のデータが登録されている利用者	各区分に該当する利用者	各区分の該当者数 ÷対象者数	(横) 積み上げ 100%棒グラフ	時点 (年、月) 割合 (%)
認知症高齢者の日常生活自立度の割合	認知症高齢者の日常生活自立度	使用する項目のデータが登録されている利用者	各区分に該当する利用者	各区分の該当者数 ÷対象者数	(横) 積み上げ 100%棒グラフ	時点 (年、月) 割合 (%)

